

MLレポート VOL.36(2023.7.10)

志賀光法(しがみつのり)の市議会報告

後援会事務所:〒754-1311宇部市大字小野8265-11 TEL/FAX64-5066

ホームページ: <http://genki.city-ube.jp> メール: genki@city-ube.jp

宇部市を
元気に!

《ごあいさつ》

先月の6月30日から7月1日の未明にかけての線状降水帯の発生による豪雨により宇部市においては主要幹線である国道2号線の2か所で道路冠水による通行止めや土砂崩れや家屋の浸水被害など重大な災害が発生しました。被災されましたすべての皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに出来るだけ早いご復興をご祈念申し上げます。

また、遅くなりましたが、今年行われました私にとって7期目の挑戦となりました宇部市議会議員選挙におきましては同じ団体に所属している方の出馬など4名の新人と競合するという私にとって、これまでで一番厳しい戦いとなりましたがご支援いただきました皆様のお陰により無事7期目の当選を果たすことができました。心から御礼申し上げますとともにこの御恩に報いるべく4年間これまで同様に宇部市民の皆さま、宇部市の更なる発展のために全力行動することをお誓い申し上げます。

さて、今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで今年の夏はコロナ前のようにイベントが通常開催されるなどほぼコロナ前にもどりそうですが、第9波の感染拡大が懸念されていますので感染防止に努めていただき、また熱中症にも十分にご注意いただき暑い夏を乗り切ってくださいようお願いいたします。

私はイベントのお手伝い等で忙しい夏となりますがこれまで同様に『世の為 人の為 誠実に そしてまっすぐに!』をモットーに 市民の皆様との接点を大切に、議会が本来果たすべき役割、チェック機能を十分に果たして行きます。今年5月臨時議会や6月議会の質問等で発行が遅くなりましたが、志賀光法の市議会報告、MLレポート VOL.36、北部予算版VOL. 37を作成しましたのでお送り致します。

宇部市議会議員 志賀 光法



志賀光法の6月市議会質問

6月定例会市議会において以下の質問項目で質問いたしました。詳しい内容につきましては宇部市議会のホームページから議会だより、議事録及び議会中継をご覧ください。

宇部市におけるDXの推進

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| (1)行政運営におけるDXの推進 | (2)市民サービスにおけるDXの推進 |
| ア. これまでの取組と今後の対応 | ア. 見守り安心コールサービス事業のこれまでの取組と今後の対応 |
| イ. 生成AI(Chat-GPT)の活用の意向は | イ. スマートスピーカーの活用の意向は |

(問)行政のDXの取組と今後の対応は?

(答)市民の利便性向上と行政運営の効率化を基本方針とした「宇部市デジタル市役所推進基本計画」に基づき、新庁舎への移転を契機に デジタル化の取組を進めてきて、現在DX推進計画アクションプランを策定しています。

(問)Chat-GPT(生成AI)の活用の意向は?

(答)利用上のリスクに十分配慮しながら、国、県、他市町の動向、また民間企業による新たなサービスの開発の状況などにも 注視しつつ、有効活用について 積極的に検討していきたい

(要望)Chat-GPTは業務を劇的に効率化してくれるので使う、使わないではなくガイドラインを作成して、しっかりと使いこなしてほしい、積極的に活用してほしい。

(問)見守り安心コールサービス事業の取組と今後の対応は?

(答)専門職員を配置して急病や相談に24時間365日対応するサービスで、4月末で957人が利用していて、今年4月からは安否が確認できるセンサーの利用料を無料にした。

(問)見守りサービスの新たなアイテムとしてスマートスピーカーを活用したらどうか?

(答)話しかけるだけで音声で必要な情報やサービスを提供してくれるA Iスピーカーはデータの送信や家族・友人との会話も可能で、見守り活動として導入している自治体もありますが、県外他市の状況を把握するなど調査研究を進めます。

(要望)高齢者の皆さまは健康不安の他、詐欺や凶悪犯罪、消費者トラブルなど不安は多岐にわたります。高齢者総合支援課だけでなく市民活動課や危機管理課等複数の課の連携による事業として制度設計しなおし、安否確認だけでなく、行政情報や災害情報の提供や買い物やデマンド交通の申込み等も実装できるスマートスピーカーを活用し高齢者にとって最適な見守り安心コールサービスとしていただくよう要望します。

☆宇部市 令和5年度予算 プロジェクト別 新規及び拡充事業

☆暮らし安心・安全プロジェクト

- 防災・減災力強化事業(防災公園の整備検討・防災倉庫の設置) 989万7千円
- 健康遊具で介護予防実践事業(健康遊具を設置して健康づくりを促進) 810万円
- 安否確認センサー利用料の無償化等(65才以上の一人暮らしを対象の見守サービス)810万円
- 带状疱疹ワクチン接種助成事業(65才以上の方を対象に接種費用の一部を助成) 660万9千円
- 交通安全施設等整備事業(拡充)(劣化して薄くなった路面標示の更新を進めるため) 660万円

☆たくましい産業育成プロジェクト

- 中小企業等脱炭素融資促進利子補給事業(省エネ・再エネ設備導入の利子補助) 210万円
- うべ産水産物認知度向上推進事業(グルメフェアの開催や情報発信で消費拡大) 493万2千円
- 成長産業創出事業(起業・創業等補助制度の拡充・研究分野等に対する支援等)9,877万4千円
- オープンイノベーション推進事業(市内企業のDXの取組に対してのハンズオン支援)4,472万2千円
- 新規就農・就業者等育成支援事業(拡充)(新規就農に向けて体験・研修の充実) 2,933万2千円

☆子ども未来応援プロジェクト

- 第2子以降保育料無償化事業(所得や第1子の年齢制限を設けず無償化する) 7,502万1千円
- 学童保育室Wi-Fi整備事業(パソコン・タブレットを使う宿題への対応の為) 326万3千円
- 新たな部活動体制整備事業(休日の運動部活動を段階的に地域移行) 1,187万9千円
- おたふくかぜワクチン接種助成(就学前の1年間の幼児対象2回目の費用の一部助成)742万3千円
- 休日・夜間救急診療所運営(在宅診療を宇部市の診療所に移行し体制の充実)1億3,633万2千円
- 母子健康診査事業(1歳児健康診査)疾病の早期発見や子育て保育への支援 1億8,499万1千円
- 地域子育て支援拠点整備事業(ゆめタウン宇部店内に子育て支援センターの開設)5,856万1千円
- 学びの機会充実事業(小学校内ふれあい教室の設置・ソーシャルワーカーの増員)5,851万円

☆まちの賑わい創出プロジェクト

- 常盤通り賑わい交流拠点利活用事業(旧山口井筒屋に子育て支援くつろぎ交流)1億5,587万円
- 3×3コート整備事業(市民が身近に親しみ交流する場中心市街地に3×3コートを整備)1,100万円
- 路線バスに乗ってみよう事業(路線バスを利用するきっかけづくりの為無料デーの実施)1,050万円
- 観光プロモーション強化事業(泊まる食べる遊ぶを紹介する動画や電子雑誌等作成) 1,870万円
- TOKIWAマルシェ開催事業(地元業者と連携し本市の食材等を活かしたマルシェ) 272万3千円
- ときわ公園にぎわい創出事業(学生から新たな発想による賑わい創出イベントの開催) 150万円
- アニメ・特撮文化魅力発信事業(庵野秀明氏にちなんで講演会やワークショップ開催) 200万円
- まちなかウォークアブル推進事業(拡充)(ときわ通りの歩行空間の整備等) 2億7,316万3千円
- アーバンスポーツ選手権大会開催事業(パルクール日本選手権、3×3大会) 3,100万円
- プロ・トップスポーツチーム連携事業(地域密着型スポーツチーム共創の街づくり等)2,120万円
- 中心市街地都市機能居住誘導事業(新天町リボンプロジェクト補助金等) 2,550万円
- コンテンツ活用推進事業(まちじゅうエヴァンゲリオンを拡充) 4,006万5千円
- 観光コンベンション・宇部DMO推進事業(拡充)(MICE誘致インバウンド対策強化) 3,250万円
- 移住定住推進事業(若者・子育て世代を対象に助成金の拡充最大100万円) 2,660万9千円
- 北部地域振興事業(にぎわい創出イベントの開催・北部オープンプラットフォームラボ運営事業)

☆持続可能なまちづくりの基盤

959万円

- 外部人材の活用によるDXの推進(専門的知見を有するCIO補佐官を設置) 990万円
- 業務再構築(BPR)の実施(業務プロセスの可視化・分析し業務の再構築を行う) 496万2千円
- SDGs私たちの未来共創補助事業(補助金を創設し市民・団体・企業のSDGsの活動支援)200万円

☆コロナ禍・物価高騰下における緊急対策

- プレミアム付商品券事業(市内経済を活性化することを目的に販売) 3億2,200万円
- 中小企業等エネルギー価格高騰対策事業(電気・ガス・ガソリン代等の一部助成) 1億2,580万円
- おいしい給食応援事業(学校給食費物価高騰対策) 6,744万3千円
- 健康・省エネ住宅リフォーム助成事業(健康・省エネ対策の改修費の一部助成) 3,000万円